

令和7年度(2025年度)高校講座実施報告
(3月分)

令和8年5月26日

- 茨城県 県立牛久栄進高等学校(令和8年3月6日)
講演テーマ: 外務省の仕事と取り組み ～異文化への理解～
講師: 大臣官房在外公館課在外勤務支援室 山崎太 課長補佐



- 東京都 私立成立学園高等学校(令和8年3月6日)
講演テーマ: 外交について
講師: 北米局北米第二課 佐々木大樹 主査



●新潟県 県立三条高等学校(令和8年3月11日)

講演テーマ: 外交を行うのは外務省職員だけ?

講師: 国際協力局国別開発協力第2課 吉田泰郎 課長補佐



●福井県 県立美方高等学校(令和8年3月12日)

講演テーマ: 一直線じゃないキャリア 地方から世界へ、世界から日本へ

講師: 国際協力局国別開発協力第2課 吉田泰郎 課長補佐



●富山県 県立砺波高等学校(令和8年3月13日)

講演テーマ: 外務省の仕事について～国際社会における日本代表～

講師: 大臣官房広報文化外交戦略課 岩渕系 課長補佐



●兵庫県 私立東洋大学附属姫路高等学校(令和8年3月13日)

講演テーマ: 外交について

講師: 大臣官房国内広報室 大澤暁 首席事務官



●山梨県 県立都留興譲館高等学校(令和8年3月16日)

講演テーマ: 外務省で働くとは? 国際関係とは?

講師: 大臣官房監察査察室 市川大輔 室長



参加者からの感想(抜粋)

●外務省員の講演を通して、日本の外交が国際社会の中で果たしている役割や、その責任の大きさを実感した。特に、多様な国や文化と関わりながら信頼関係を築いていく重要性が印象に残り、自分も広い視野を持つことの大切さを学べた。

●外務省の仕事や SDGs など、これからの未来に必要なことがたくさん学ぶことができてとても良い経験になった。

●外務省についてなにも知らなかったのので、ニュースで聞いたことがある大使が外務省の職員だと知って驚いた。ワシントン条約といった授業で習うような有名な条約を議論する会議に出席した経験にも驚いた。クイズや気さくなトークで場が和み、楽しかった。

●外務省員が他国と交渉や会談をしたり、世界情勢について日本の立場を示したり、支援をしていることはなんとなく知っていたが、講師が 50 カ国を訪問した経験があったり、それぞれの国での勤務期間が自分の思っていたより長いことにびっくりした。

●印象に残った話は、外務省勤務に特別な経歴などは必要ないということだった。また、外交関係では、多面的に捉える力と幅広い知識が重要であることを改めて確認できた。今回の講演を通じて、語学力と異文化理解の重要性も再確認できた。

●やりたいことを見つけることや、それに挑戦することは何歳になっても遅くないということがわかった。今は夢ややりたいことなどが自分には見つからないけれど焦らず、本当にやりたいことを見つけていきたいと思った。